

社協だより

2017 No.31 みんなで築く地域福祉のまちづくり



福祉教育（補助犬）

11月26日介助犬
タフィと盲導犬
クルーズによる
パートナーへの
普段のお仕事ぶ
りを見ました。

補助犬とは・・・

目、耳、手足に障
害がある方の生活
をお手伝いする「盲
導犬」「聴導犬」「介
助犬」のことです。
身体障害者補助犬
法に基づき認定さ
れた犬で、特別な
訓練を受けていま
す。障害のある方
のパートナーであ
り、ペットではあ
りません。



今回の内容

- 2 平成29年度会員募集
- 2 賛助会員の紹介
- 2 ご芳志ありがとうございます（報告）
- 3 地域のお茶の間活動スタッフ交流集会
- 3 みんな元気で輝いています！（各団体の活動報告）
- 4 ボランティア交流広場
- 5 ボランティア報告「合同研修会：避難所運営ゲームHUG体験」
- 6-7 共同募金報告
- 8 暮らし再建支援センターかほく



平成29年度 会員募集 かほく市社会福祉協議会

会員の募集は年間を通じて行っております。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

● 会員とは？

かほく市に暮らす住民のみなさま一人ひとりが、地域福祉の良き理解者になっていただくために、そして、さまざまな地域福祉活動の原動力になっていただくため、会員の加入をお願いしています。

● 会員の種類と会費（年額）

- ・ 一般会員(世帯) 200円
- ・ 特別会員(個人・団体) 1,000円
- ・ 賛助会員(法人) 10,000円

一般会員の募集につきましては、毎年、7月～8月にかけて町会区長会連合会を通じてご依頼させていただきます。



福祉教育プログラム
親子料理教室

賛助会員のご紹介

かほく市社会福祉協議会では、賛助会員の加入をお願いしています。「地域の福祉向上に貢献したい」などのお考えがある企業等の皆さまに、社協会員として財政面から社協の福祉事業をサポートしていただいています。

(五十音順：平成29年3月10日現在)

ありがとう
ございました



- | | |
|------------------|----------------------|
| ● 今村会計事務所 様 | ● 株式会社 杉本自動車サービス 様 |
| ● 株式会社 ヴァケーション 様 | ● セレモニーステーション はまなす 様 |
| ● 株式会社 内潟自動車 様 | ● 有限会社 タカヒラ 様 |
| ● 河北ガス水道株式会社 様 | ● 株式会社 西田自動車 様 |
| ● かほく市七塚女性会 様 | ● 東日本ツーリスト株式会社 様 |
| ● きくのや薬局 様 | ● 松本自動車サービス株式会社 様 |
| ● 岸設備工業株式会社 様 | ● 有限会社 森自動車 様 |
| ● 工一自動車株式会社 様 | ● 株式会社 山本自動車商会 様 |

あたたかいご芳志ありがとうございました。

平成28年度もたくさんの方から福祉向上にとご寄附をいただきました。みなさまからの寄附金は、地域福祉の向上を目的に社会福祉協議会が推進する社会福祉事業に有効に活用させていただきます。

(平成28年11月16日～平成29年3月10日受付分)

● 市内匿名 1名

※社会福祉協議会への寄附金は、所得税・住民税の控除対象になります。

ほか多くの市民のみなさまからプルタブや使用済み切手、使用済みインクカートリッジの収集にご協力いただきました。

知 得

ふだんの
くらしの
しあわせ



桃山学院大学 教授 松端 克文氏

講師

● 地域のお茶の間活動の意義・目的とは…
地域のお茶の間活動は地域のつながりを支える活動

講演

桃山学院大学 教授 松端 克文氏

コーディネーター

・木津えびすの会 元女 貴久乃氏
・公民館へ寄らん会 南 外志夫氏
・オレンジカフェ 竹中 由香里氏

パネリスト

● 地域のお茶の間活動実践者から学ぶ

パネルディスカッション

11月14日（月）、市内で日頃から地域での交流の場である地域のお茶の間活動の運営スタッフや興味・関心がある方など45名が集まり、「地域のお茶の間活動スタッフ交流集会」を開催しました。

市内で活動されている方3名による日頃の活動での苦労や良かったことなどの発表の後、松端教授による講演があり、参加者の皆さんは地域のつながりの大切さについて理解を深めました。



地域のお茶の間活動スタッフ交流集会

二十歳の門出を祝福

1月3日、かほく市手をつなぐ育成会では、24家族57名の参加により成人式と新年交流会を行いました。今村会長よりあいさつ、油野市長・沖津県議様から祝辞をいただき、りりしいスーツ姿でお礼の言葉を述べ会場の全員から二十歳の門出を祝福されました。



3部会で研修会を開催

87名の新体制となり、長寿社会部会は2月20日にグループホーム芙蓉の施設見学を開催。生活援護部会は3月1日に権利擁護研修会を開催。児童家庭部会は3月2日に避難所運営ゲームHUGに参加しました。



手をつなぐ
育成会

民生委員
児童委員

団体の活動を紹介

かほく市社会福祉協議会は、各福祉団体の活動がきめ細かく推進できるように支援を行っています。

みんな元気で輝いています！

第9回開催!

ボランティア交流広場

2016

かほく市内で活動をしているボランティアの方たちの交流の場「ボランティア交流広場2016」が11月に開催されました。3中学校、県立看護大学、手話サークルのみなさんの活動発表のあと、輪島市社会福祉協議会の七尾幸子参事に「能登半島地震から9年・災害時におけるボランティアの役割」と題して講演をしていただきました。掲載されている参加者の声からも伝わるように、とても充実した時間になりました。

★発表された団体★

- ・高松中学校
- ・河北台中学校
- ・宇ノ気中学校
- ・災害ボランティアサークルふたば（県立看護大学）
- ・高松手話ボランティアあやとりの会
- ・七塚手話教室
- ・手話サークルつつじの会



参加者の声（一部）

講演の中で、「災害ボランティア活動記録」のお話を聞き大変参考になりましたし、「受け取る力」が必要ということもよくわかりました。「知識があること」「つながりがあること」なども大切だと感じました。（50代女性）

ボランティアは手助けであって主役ではないということをあらためて考えさせられました。「やってあげる」ではなく、「何がしてほしいのだろう」と動くことが大切だと確認できました。（40代女性）

七尾さんのお話は特に知らなかったことばかりで、「目からうろこ」の状態でした。このような機会を通して、ボランティアの種類、ボランティアの実践の仕方と、もっともっと学んでいきたいと思いました。（50代女性）

この交流会で普段は話すことがないお年寄りの方々と交流出来ました。ろうあの方や高齢者の方はとても楽しそうで、私もうれしい気持ちになりました。（10代女性）



好きです！ボランティア

ボランティアグループ紹介

地域子育て支援サークル保育ママの会ママレンジャー

つながろう ボランティアの輪
ひまわり



主な活動には、支援センター訪問、行事の補助、保育園・幼稚園訪問、託児等があります。手作りの人形劇や食育活動、着ぐるみなどで、お母さん方や子どもたちを楽しんでもらっています。また、グループ内では、スポーツ大会、料理教室等を通して親睦を深め、より楽しく活動できるようにしております。元気の出るグループです。

代表 ▼ 大本富美江

かほく市ボランティア連絡協議会
かほく市民生委員児童委員協議会

合同研修会

避難所運営ゲームHUG体験

3月2日に総勢64名の参加者と共に、災害時要援護者への配慮をしながらゲーム感覚で避難所の運営を体験しました。能登半島地震の際に事務局長として指揮をとっていた輪島市社会福祉協議会の七尾幸子さんの指導のもと、参加者は初めての体験に最初は戸惑いながらも、グループ内で意見を出し合いながら真剣に対応をしていました。避難所運営についても地域の力が大変重要になってくることを考えると、今回のHUG体験は有効な体験でした。実際には運営をする側ではなかったとしても、避難所では実に様々な出来事が起こり得るということも一人でも多くの方が認識しておくことで、地域での対応力が増すことにもつながります。これを機会にHUGに関心を持たれた方や地域がありましたら、社会福祉協議会までご相談ください。

参加者の声(一部)

- 時間のなかで判断しなくてはいけないことが、ゲームといえど大変だった。現実はその以上だと想像できるので、いい経験ができたと思う。
- まず沢山の条件の事がおこり内容を把握するのに大変で、私自身がパニック状態に陥るようでした。(冷静に受けとめる事が大切だと感じた)とても良い経験でした。何度も体験したいです。
- 初めは進め方に戸惑ったが、実際はこれ以上に複雑する事と思うので、この様なゲームはくり返し行い、身につける事が大切なことだと思った。
- ゲームを通して模擬体験をした結果を踏まえて、自分たちの避難所を立ち上げる時のために考えておきたいです。配慮すること話し合いながらカードを置くことで、自分の気付かなかったことも気付けてよかったです。また、HUGをいろいろな人(地域住民や子どもたちなど)とやっていきたいと思いました。



ボランティア活動保険の加入はお済みですか?

- 昨年度加入された方も、3月末日で補償期間が終了していますので、平成29年度の新たな加入が必要です。お申込み、お問い合わせはボランティアセンターまで。

保険補償の一例		Aプラン	Bプラン
死亡保険金		1,320万円	1,800万円
入院保険金 (1日つき)		6,500円	10,000円
通院保険金 (1日つき)		4,000円	6,000円
掛金 (年額)	基本タイプ	350円	510円
	天災タイプ	500円	710円
補償期間		4月1日～翌年3月31日 (年度単位：年度内の中途契約でも補償は3月31日まで)	

平成29年度主な改定ポイント

- ・ Aプランの死亡保険金引き上げ
- ・ 掛金(保険料)の全面見直し

- 「ボランティア活動保険」は日本国内における無償のボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。(詳細は、ボランティアセンターまで)

新規加入も受付しております。お気軽にボランティアセンターへお問い合わせください。TEL (076)285-8885

■ 各募金の実績

(単位：円)

募金名	募金額
赤い羽根共同募金	1,849,743
歳末たすけあい募金	4,469,232
合計	6,318,975

みなさまから

総額

6,318,975円

の募金をお寄せいただきました。

ご協力ありがとうございました！



赤い羽根
共同募金



「赤い羽根共同募金」街頭募金活動

[10月29日 ジュニアボランティア]

■ 共同募金額実績の内訳

(単位：円)

町会・区会名	赤い羽根	歳末 たすけあい
南町	18,900	50,400
古宮町	58,650	156,400
元町	8,850	24,000
南新町	38,250	102,000
流川町	7,500	20,000
六軒町	10,800	28,800
中町	6,000	16,800
上北町	5,700	14,400
北中町	5,550	14,800
北新町	13,500	36,000
岸川町	15,300	40,800
桜井町	15,450	42,130
下伊丹町	7,800	26,000
上伊丹町	42,300	101,050
東町	24,900	66,400
旭町	41,550	110,800
内高松	24,000	64,000
長柄町	36,750	98,000
若緑	4,200	11,200
箕打	3,900	10,400
元女	3,000	8,000
黒川	5,100	13,600
野寺	1,800	4,800
八野	5,850	15,600
瀬戸町	9,150	24,400
夏栗	6,300	16,800
中沼	28,350	75,600
二ツ屋	25,200	67,200
学園台	25,950	69,200
木津	121,350	323,600
松浜	42,000	100,000
遠塚	64,200	171,200
浜北	50,000	120,000
秋浜	40,350	107,600
外日角	81,000	246,119
白尾	161,250	430,000

高松地区

七塚地区

町会・区会名	赤い羽根	歳末 たすけあい
森	12,600	33,600
向野	27,450	73,200
狩鹿野	17,400	46,400
指江	21,750	67,541
多田	3,900	10,800
気屋	6,300	16,800
上山田	9,000	24,000
下山田	3,150	8,400
鉢伏	10,950	29,200
宇気	65,000	170,000
七窪	94,650	179,982
宇野気	107,700	
大橋		46,232
本町		109,184
中町		37,328
栄町		29,206
曙町		26,891
旭町		55,809
内日角	81,750	186,975
大崎	95,400	192,432
横山	54,000	144,303
谷	6,900	21,450
笠島	6,750	18,000
上田名	14,850	49,910
余地	8,850	24,833
地区別小計	1,709,050	4,430,575
のと共栄信用金庫	2,863	
かほく市子ども会	96,875	
ジュニアボランティア	16,785	
相生会	13,199	
クラブパレット	505	
募金箱	10,460	
宇野気鉄道少年団		28,641
ボランティア手づくりグループ		10,000
個人など	6	16
その他小計	140,693	38,657
募金合計	1,849,743	4,469,232

宇ノ気地区

その他(順不同)

平成28年度共同募金運動では、みなさまの温かい善意、ご協力とご理解で多くの募金をお寄せいただきました。厚くお礼申し上げます。

平成28年度 赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金

情報

平成28年度『赤い羽根共同募金』と『歳末たすけあい募金』の使い道

みなさまの善意は次のように役立てられています。

赤い羽根共同募金の使い道

28年度に寄せられた**赤い羽根共同募金**は、29年度、市内で福祉活動を行う福祉団体やボランティア 団体などの支援のために使われます。

(単位：円)

配分先	配分額
県内全域への配分 (福祉活動費として配分)	440,000
かほく市内への配分 (福祉活動費として配分)	1,228,743
災害準備金 (県内での災害時、ボランティアが活動するための費用として積立)	171,000
運動経費 (運動資材購入・郵便料など)	10,000
赤い羽根共同募金配分合計	1,849,743

赤い羽根共同募金は かほく市内の福祉活動のために…



〔ママ同士の交流の場「なぎ」の様子〕

市内で地域の住民同士が交流する場である「地域のお茶の間」に対して、運営の支援や新たに立ち上げる活動の支援をしています。「赤い羽根共同募金」は、助成金として地域のつながりづくりの活動にも役立てられています。

歳末たすけあい募金の使い道

28年度に寄せられた**歳末たすけあい募金**は、支援を必要とする人々が、地域で安心して暮らせるよう福祉活動の推進のために使われました。

(単位：円)

配分先	配分額
要介護世帯 (50世帯)	250,000
要介護世帯(要介護4・5認定者)(63世帯)	315,000
特別児童扶養手当受給者 (48世帯)	240,000
施設等入所者 高齢者施設 (207名)	1,035,000
児童養護施設 (2名)	10,000
障害児・者施設 (240名)	1,200,000
見舞金贈呈事業計	3,050,000
地域福祉サービス事業	1,144,232
運動経費 (運動資材購入・郵便料など)	275,000
歳末たすけあい募金配分合計	4,469,232

歳末たすけあい募金は 施設をご利用の方々のために…



〔特別養護老人ホームことぶき園での
歳末見舞金贈呈式の様子〕

かほく市共同募金委員会会長の油野和一郎市長が、市内の老人福祉施設に入所されている方一人ひとりに言葉をかけながら、皆様からの善意をお見舞金として手渡しました。

くらし再建支援センターかほく



ひとりで抱え込まずに
まずはご相談ください。

働きたくても働けない、
住む所がないなど、
まずはお困りごとをお聞かせください。
地域の相談窓口がいっしょに考え、
解決へのお手伝いをします。
ご家族などまわりの方からの
相談でも受付いたします。

相談無料
秘密厳守

【ご相談・問い合わせ先】 **くらし再建支援センターかほく** かほく市遠塚口 52 番地 10 (かほく市社会福祉協議会内)
☎ 076-285-8885 月～金 (休日・年末年始を除く) 8時30分～17時15分

「くらし再建支援センターかほく」は、かほく市より委託を受けて生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立相談支援事業を社会福祉法人かほく福祉協議会が設置・運営しています。

発行・編集 社会福祉法人かほく市社会福祉協議会 〒929-1173 かほく市遠塚口52番地10(七塚健康福祉センター内)



再生紙を使用しています

<http://www.kahoku-shakyo.or.jp/>

TEL(076)285-8885 FAX(076)285-2049